

## 6 室内活動

<b>活動名</b>		(I) レクリエーション
<b>活動のねらい</b>		ゲームなどのレクリエーション活動を通して、親睦や交流を広げたり深めたりしようとする態度を育てる。
<b>活動の主な時期</b>		通年
<b>時間・費用</b>		70分・無料
<b>対象・人数</b>		幼児以上・120人以内
<b>場所</b>		体育館・第2研修室・つどいの広場
<b>準備品</b>	研修団体	体育館シューズ, タオル, 水筒
	自然の家	レクリエーションに必要な道具
<b>活動内容</b>		<p>1 集合, あいさつ</p> <p>2 説明            (1) 道具や場の準備            (2) 活動の流れ            (3) 安全面</p> <p>3 活動            ○ アイスブレイク            ○ 仲間作りゲーム など</p> <p>4 後片付け</p> <p>5 集合, あいさつ</p>
<b>留意事項</b>	研修団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 適宜水分補給を促す。</li> <li>○ 特に雨天時等は、床が滑りやすいので注意するとともに、必ず屋内履きで活動する。</li> <li>○ 自然の家職員の説明をよく聞いて、必要に応じて個別に対応できるようにする。</li> </ul>



<b>活動名</b>		(2) 灯のつどい
<b>活動のねらい</b>		<small>しよくだい</small> 燭台(灯)を囲んで交流する活動を通して、友情や交流を深めるとともに、これまでの自分を見つめ、他の人々に感謝しようとする心情を養う。
<b>活動の主な時期</b>		通年
<b>時間・費用</b>		70分・ローソク代(一人10円)
<b>対象・人数</b>		小学生以上・120人以内
<b>場所</b>		体育館
<b>準備品</b>	研修団体	スタンプ(出し物), 必要なCD, 体育館シューズ
	自然の家	燭台, トーチ, ローソク, ブルーシート, ランタン, 放送機器, 灯のつどいセット(進行マニュアル, カード, ライター)
<b>活動内容</b>		<p>【30分前】リハーサル…自然の家職員, 進行(1), 営火長(1), 親火(1), 子火(4)</p> <p>1 集合, あいさつ</p> <p>2 説明          (1) 道具等の配布          (2) 活動の流れ          (3) 安全面</p> <p>3 活動          (1) 迎え火の式をする。          (2) 交歓のつどいをする。          (30分程度)          (3) 送り火の式をする。          (4) 後片付けをする。</p> <p>4 集合, あいさつ</p>
<b>留意事項</b>	研修団体	<p>○ 事前に係を決め, 台詞等の練習をしておく。また, スタンプ(出し物)を計画し, 打合せや練習等をしておく。</p> <p>○ 係が準備及びリハーサルを行えるように, 事前の活動と繋がるようにしておく。</p>



# 灯のつどい 進行表

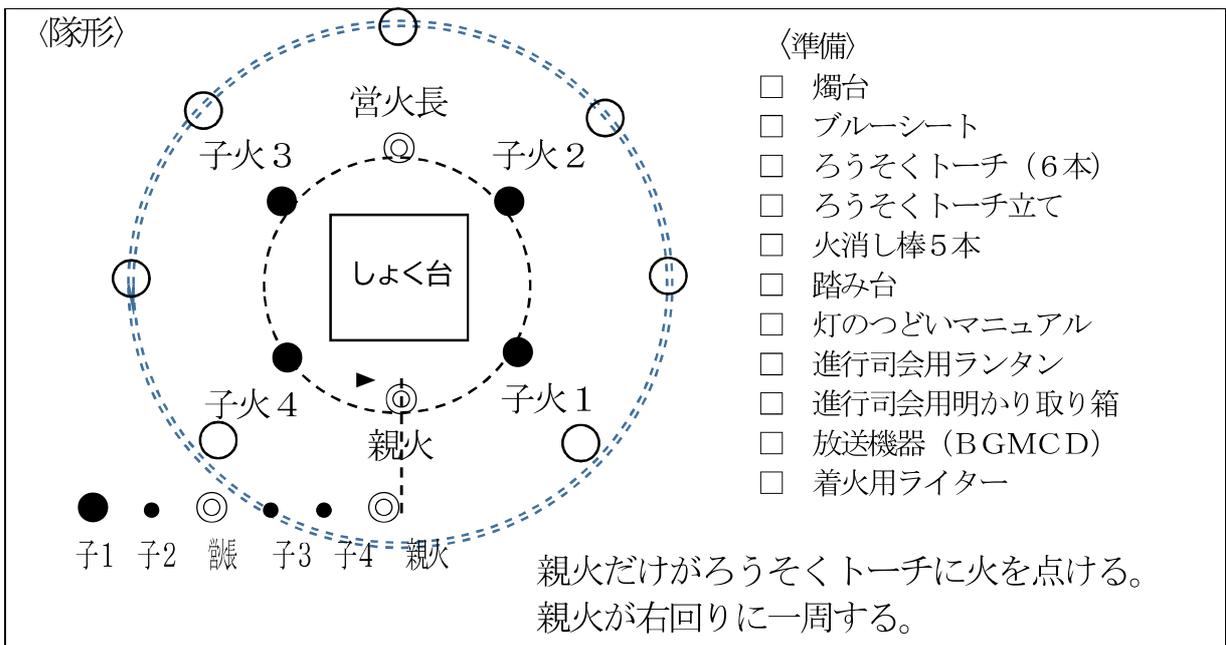
## 【1部 迎え火の式】

- みなさん、こんばんは。自然の家での研修も（○日目の・最後の）夜を迎えました。  
これまでの活動を振り返り、研修で学んだことをこれからの生活に生かせるように、そして、私たちの友情がさらに深まるように、ただいまより灯のつどいを行います。
- それでは、第1部「迎え火の式」です。 〈BGM1（入場後フェードアウト）〉
- 営火を迎え入れます。〈親火、子火4、3、営火長、子火2、1の順で入場する。〉
- 親火は、営火に捧げる言葉をお願いします。 親火：営火に捧げる言葉
- 親火は、営火長と子火へ火を分け与えてください。 親火・営火長・子火：分火の言葉・誓いの言葉
- 営火長は、点火を宣言してください。 営火長が「点火」と言う。  
親火・営火長・子火：点火
- 営火長は、迎え火の言葉をお願いします。 営火長：迎え火の言葉
- みなさん、中央の炎をしばらく見つめましょう（少し間を置く。）※ 語りかけるようにゆっくり話す。  
営火長、親火、子火の皆さん、ありがとうございました。

これで第1部「迎え火の式」を終わります。

営火の皆さんは退場しましょう。

親火・子火・営火長は退場する。



【2部 <sup>こうかん つど</sup>交歓の集い（レクリエーション）】 30分程度

【3部 <sup>おく び しき</sup>送り火の式】（※全員起立する。）

1 楽しかったレクリエーションも、あっというまに終わりました。それでは、<sup>だい ぶ おく び しき</sup>第3部「送り火の式」を始めます。〈BGM：2〉

2 <sup>おやび えい かちよう こび みな さいか みな わ</sup>親火、営火長、子火の皆さんは採火し、周りの皆さんに分けてください。

3 <sup>えい かちよう</sup>営火長は、送り火の言葉をお願いします。

<sup>えい かちよう おく び</sup>営火長：送り火の言葉

4 <sup>ほのお</sup>みなさん、炎をじっと見つめてください。〈BGM3〉

これから<sup>みな あゆ</sup>皆さんが歩む人生は、楽しいことばかりではありません。つらいことや悲しいことも<sup>かな けいけん</sup>経験し、時にはくじけそうになることもあるでしょう。

でも、<sup>みな よろこ かな わ あ</sup>皆さんには、喜びや悲しみを分かち合える先生や友達がいます。お互いを信じ、助け合  
いながら、この暗闇を照らす<sup>くらやみ て ほのお</sup>炎のように、力を合わせて困難に立ち向かっていこうではありません  
か。<sup>ともだち</sup>友達や先生がいれば、どんなに苦しいことでも、きっと乗り越えていけるはずですよ。

<sup>さいご かぞく</sup>最後に、家族の顔を思い浮かべてください。<sup>みな</sup>皆さんが、こんなにも大きく<sup>せいちょう</sup>成長し、何不自由な  
く毎日<sup>す</sup>を過ごしていけるのは、言葉では言い尽くせないほどの<sup>かぞく</sup>家族の協力や<sup>くろう</sup>苦勞があるおかげで  
す。

<sup>ふだん て</sup>普段は照れくさくて言えないけど、「ありがとう」と<sup>かんしゃ</sup>感謝の言葉を、心の中でつぶやいてみてく  
ださい。

それでは、<sup>こんばん</sup>今晚、ここに集った<sup>みな</sup>皆さんが、<sup>かぎ</sup>限りない未来に向かって<sup>ちからづよ</sup>力強く羽ばたいていくこと  
を、そして、<sup>さちおお</sup>幸多き人生を歩んでいかれることを祈りながら、<sup>だい ぶ おく び しき</sup>第3部「送り火の式」を閉じたい  
と思います。

<sup>みな</sup>皆さん、手<sup>も</sup>に持ったろうそくの火を<sup>しず</sup>静かに消してください。<sup>えい かちよう こび みな</sup>営火長、子火の皆さんは、<sup>しょうたい</sup>燭台  
の火を消してください。<sup>おやび しょうたい のこ</sup>親火は、燭台に残った最後の火を消してください。

<sup>みな</sup>皆さんありがとうございました。以上で、今夜の「<sup>いじょう</sup>灯のつどい」を終わります。

5 <sup>えい かちよう おやび こび みな</sup>営火長、親火、子火の皆さん、ありがとうございました。<sup>えい かちよう おやび こび みな</sup>営火長、親火、子火の皆さんは<sup>たいじょう</sup>退場  
してください。

6 <sup>みな</sup>皆さん、ありがとうございました。以上で、今夜の「<sup>いじょう</sup>灯のつどい」を終わります。

## 灯のつどいの言葉

### 【親火：営火に捧げる言葉】

夜の訪れとともに、先ほどまで明るかったこの体育館も静かな闇に包まれようとしています。  
 遠い昔、暗闇を照らす炎は、人々にとって心のより所であり、疲れを癒やし、体を温めてくれる希望の光  
 でした。今夜、私たちも、灯火を囲みながら、楽しく、そしておごそかな時間を過ごします。ここに集まった皆さ  
 んが、これからも、中央の燭台に灯される炎のように、学校や地域で輝き続けてくれることを祈りながら、  
 営火に捧げる言葉とします。

### 【営火長：迎え火の言葉】

今夜、私たちは、ここ奄美少年自然の家で、聖なる火を囲みます。日々の暮らしを離れ、共に生活する中で、  
 友情を深め、感謝の気持ちを育むことができました。この火が、かけがえのない思い出となり、いつまでも  
 私たちの胸に灯り続けることを祈りながら、迎え火の言葉とします。

### 【営火長：送り火の言葉】

一つ一つは小さくても、たくさん集まるとこんなにも明るくなる炎のように、ともに笑い、ともに楽しんだ時間  
 は、奄美少年自然の家で過ごした楽しい思い出となって、いつまでも皆さんの心に残ることと思います。  
 燭台の炎は消えても、今日育んだ友情の炎は、いつまでも、私たちの心の中で消えることはないでしょ  
 う。この素晴らしい思い出をみなさんの心に刻むために、しばらくの間、じっくりと炎を見つめてください。  
 最後に、私たちを励まし、見守ってくれた奄美の自然に感謝して、送り火の言葉とします。

## ぶんか 分火の言葉 ※キャンプファイヤー、灯のつどい共通

親火	子火
<p>こび （子火1へ）</p> <p>こうじょう 向上のために</p>	<p>こび 【子火1】</p> <p>私たちは、自分の可能性を信じ、心と体をきたえ、努力を惜しまない人になります。</p>
<p>こび （子火2へ）</p> <p>ゆうじょう 友情のために</p>	<p>こび 【子火2】</p> <p>私たちは、お互いを信じ、共に励まし合い、友情を深める人になります。</p>
<p>こび （子火3へ）</p> <p>しゃかい 社会のために</p>	<p>こび 【子火3】</p> <p>私たちは、進んで学び、学校や地域、社会のために役立つ人になります。</p>
<p>こび （子火4へ）</p> <p>きぼう 希望のために</p>	<p>こび 【子火4】</p> <p>私たちは、希望と目標をもち、未来に向かって、夢の橋をかける人になります。</p>

<b>活動名</b>		(3) ドミノ倒し
<b>活動のねらい</b>		仲間と協力してドミノ倒しを楽しむ活動を通して、工夫しようとする姿勢や助け合いの心、主体的に問題解決に取り組もうとする態度を育てる。
<b>活動の主な時期</b>		通年
<b>時間・費用</b>		70分・無料
<b>対象・人数</b>		幼児以上・120人以内
<b>場所</b>		体育館 など
<b>準備品</b>	研修団体	特になし
	自然の家	ドミノ
<b>活動内容</b>		<p>1 集合, あいさつ</p> <p>2 説明  (1) 活動の流れ  (2) 安全面</p> <p>3 活動  (1) ルールを決めて, ドミノを並べる。  ○ 時間  ○ 個数  ○ 長さ など  (2) ドミノ倒しをする。  (3) 活動の振り返りをする。  (4) 後片付けをする。</p> <p>4 集合, あいさつ</p>
<b>留意事項</b>	研修団体	○ 団体引率者は, 時間やグループ編成, 順位の有無等のルールを事前に決めておく。



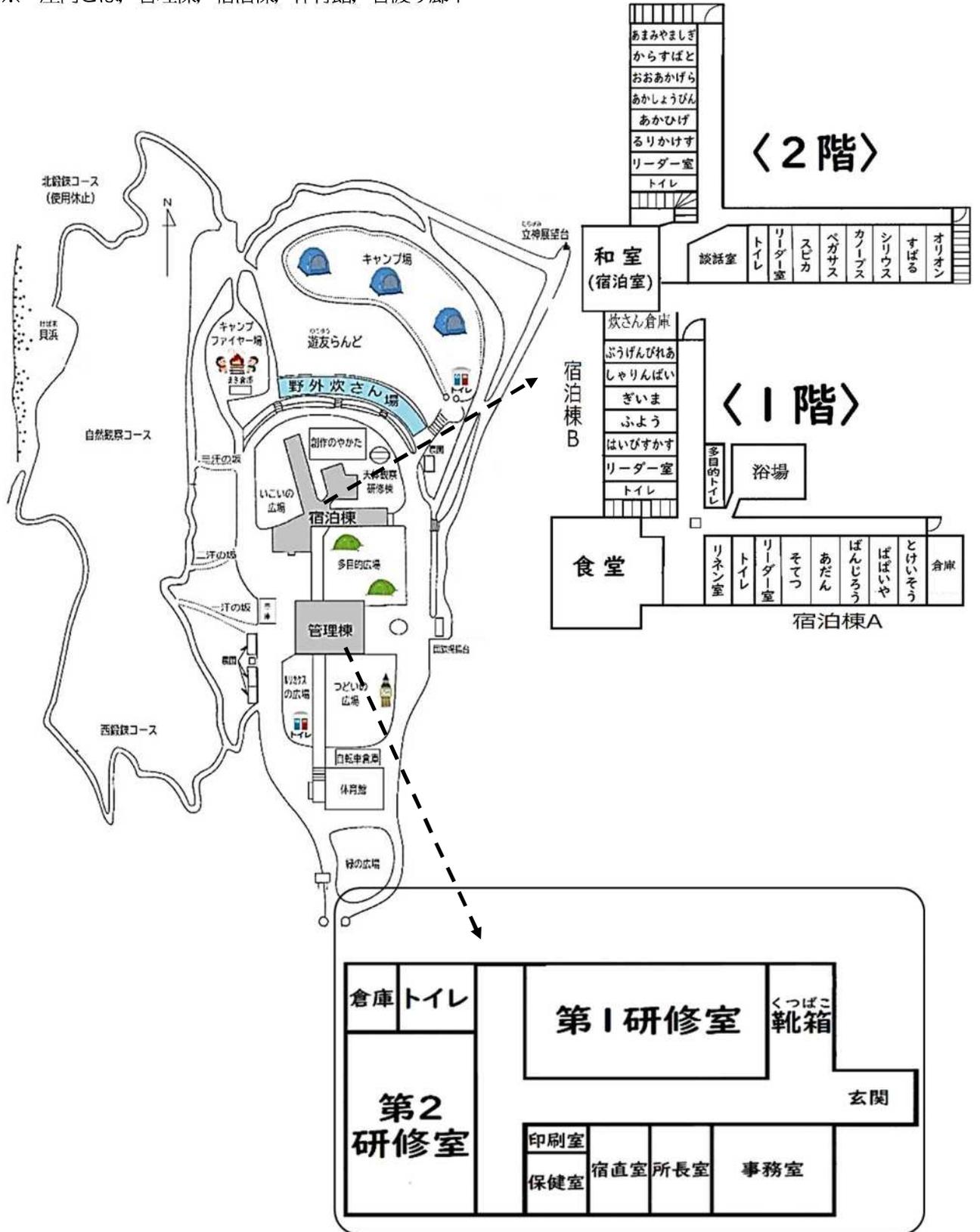
<b>活動名</b>		(4) 室内フィールドビンゴ
<b>活動のねらい</b>		仲間と協力して室内でのフィールドビンゴを楽しむ活動を通して、主体的に問題解決に取り組もうとする態度を育てる。
<b>活動の主な時期</b>		通年
<b>時間・費用</b>		70分・無料
<b>対象・人数</b>		幼児以上・60人以内
<b>場所</b>		体育館 研修室 など
<b>準備品</b>	研修団体	特になし
	自然の家	ビンゴカード,所内地図, 箱
<b>活動内容</b>		<p>1 集合, あいさつ</p> <p>2 説明</p> <p>(1) ルール, 活動の流れについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ カードにあるものを集める</li> <li>○ 集めた数や揃った列の数で競う。</li> </ul> <p>(2) 安全面</p> <p>3 活動</p> <p>(1) 活動場所を散策し,ビンゴカードにあるものを探す。</p> <p>(2) 定めた時刻までに集合場所へ戻り, チェックを受ける。</p> <p>(3) 活動の振り返りをする。</p> <p>(4) 後片付けをする。</p> <p>4 集合, あいさつ</p>
<b>留意事項</b>	研修団体	○ 団体引率者は, 時間やグループ編成, 順位の有無等のルールを事前に決めておく。



# 室内フィールドビンゴマップ

(所内(屋内)を自由に散策し、ビンゴカードにあるものを探す。)

※ 屋内とは、管理棟、宿泊棟、体育館、各渡り廊下



<b>活動名</b>		<b>(5) クリエイティブゲーム</b>	
<b>活動のねらい</b>		ゲームを通して、参加者相互の交流や親睦を深め、友達と関わり合うことの楽しさを感じる。	
<b>活動の主な時期</b>		通年	
<b>時間・費用</b>		70分～140分・無料	
<b>対象・人数</b>		小学生以上・50人以内	
<b>場所</b>		体育館、広場等	
<b>準備品</b>	<b>研修団体</b>	帽子、水筒、タオル、必要に応じて体育館シューズ	
	<b>自然の家</b>	パイプライン	ハーフカットしたパイプ、ゴルフボール、ビー玉、テニスボール各1個
		ラダーゲッター	ラダーゲッター(2セット)
		空き缶タワー	空き缶、物差し(1m)、審判台、メジャー
		ドミノ倒し	ドミノセット
		ナイスキャッチ	てみ(3)、バケツ(2)、なり(3)、テニスボール(2)
<b>活動内容</b>		<p>1 集合、あいさつ</p> <p>2 説明  (1) 目的  (2) ルール  (3) 安全面</p> <p>3 活動  (1) 各アクティビティのルールを知る。  (2) 各アクティビティを体験する。  (3) 成績を聞く。  (4) 活動の振り返りをする。  (5) 後片付けをする。</p> <p>4 集合、あいさつ</p>	
<b>留意事項</b>	<b>研修団体</b>	○ 事前に班編成を行う。(8班編制以内) ○ 引率者が各ゲームの記録をする。(チーム得点表あり)	

